



平成 29 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 ローツェ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤代 祥之  
(コード：6323・東証第一部)  
問合せ先 取締役管理部長 岩瀬 好啓  
(TEL：084-960-0001)

## 第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 4 月 17 日に公表しました平成 30 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ平成 30 年 2 月期通期の連結業績予想について下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異

平成 30 年 2 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 29 年 3 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する四半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	30,512	2,902	2,883	1,704	円 銭 98 62
実 績 値 ( B )	35,347	3,334	3,314	2,142	123 95
増 減 額 ( B - A )	4,835	432	431	438	—
増 減 率 ( % )	15.8	14.9	14.9	25.7	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 2 月期第 2 四半期)	9,263	2,148	2,156	1,641	94 96

#### (業績予想と実績の差異理由)

連結売上高につきましては、韓国子会社におけるガラス基板関連自動化装置の売上が順調に推移し、計画より前倒しの売上計上となり前回予想を上回る結果となりました。

一方、損益面につきましては、売上増加に伴い利益が増加いたしましたが、韓国子会社において一括受注したガラス基板関連自動化装置が超短期間で納品されたことにより、外注費などの費用が増加した結果、微増益となりました。

2. 通期連結業績予想の修正

平成 30 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 3 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 予 想 ( A )	44,313	4,223	4,175	2,141	円 銭 123 92
今 回 予 想 ( B )	46,887	4,713	4,821	3,011	174 29
増 減 額 ( B - A )	2,574	490	646	870	—
増 減 率 ( % )	5.8	11.6	15.5	40.6	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 2 月期)	24,738	4,572	4,581	3,055	176 78

(修正の理由)

連結売上高につきましては、主力製品であるウエハ搬送機がデバイスメーカー、製造装置メーカー及びウエハメーカー等の積極的な設備投資需要により受注及び販売が増加する見通しであります。

損益面につきましても、売上増加に伴う利益増加により営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回予想を上回る見込みであります。

なお、今回の通期連結業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以 上